

FLY ANA!
WINDSURFING
WORLD CUP
YOKOSUKA MURA



ANAウインドサーフィンワールドカップ
横須賀・三浦大会(2024年大会)

協賛のご案内

ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会 実行委員会





VISION

ウインドサーフィンワールドカップを通じて喜びや感動を与え、ヒト・地域に活力をもたらします。

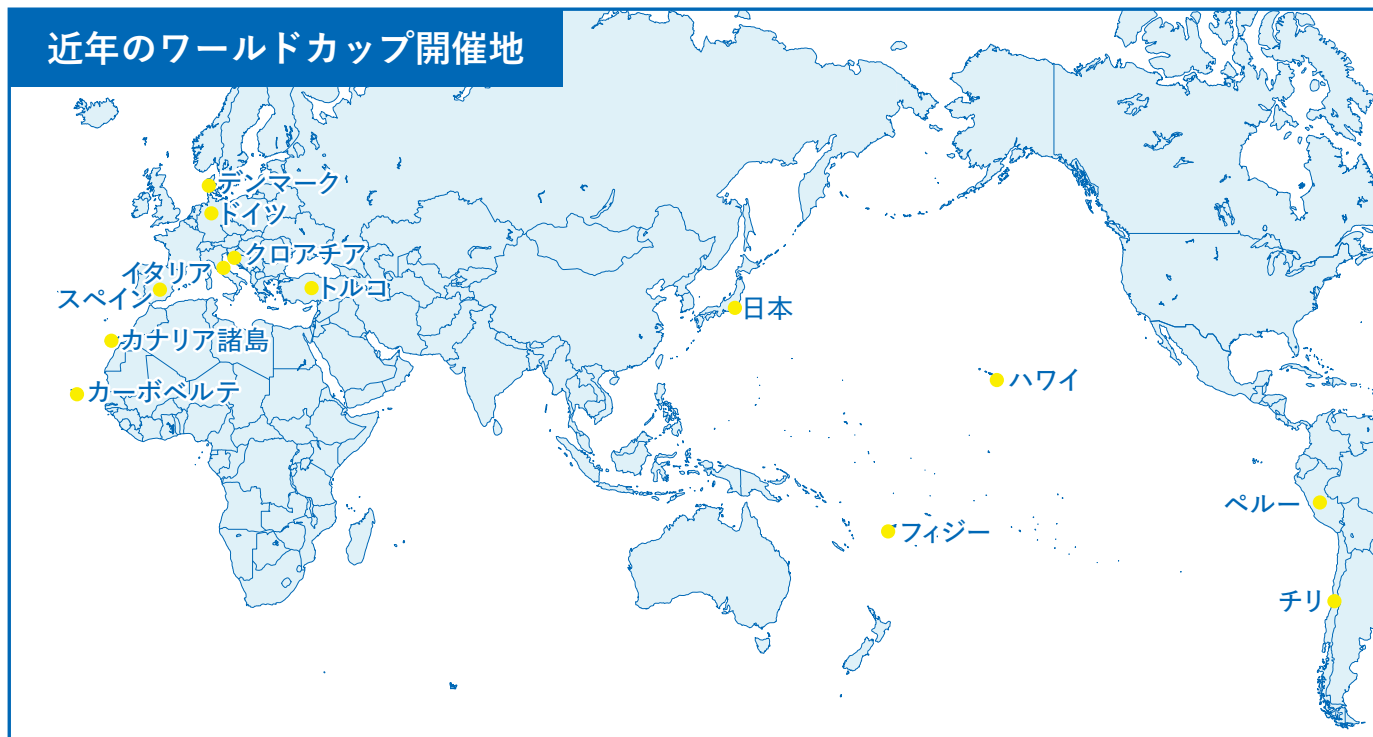
CONCEPT

- ▶ 多様性を受け入れ、サステナブルな大会の実現を通じて国際的な認知拡大を目指します。
- ▶ 空・海・風とひとつになるウインドサーフィンの魅力を人々に伝え、競技の認知獲得を目指します。
- ▶ 大会実現にむけて地域の人々や関係企業と協力し三浦半島の活性化に貢献します。

| | |
|---------|---|
| 主催 | ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会 (構成団体 全日本空輸株式会社、京浜急行電鉄株式会社、神奈川県、横須賀市、三浦市) |
| 特別協力 | 一般社団法人日本ウインドサーフィン協会(JWA) |
| 公認 | プロフェッショナル・ウインドサーファーズ協会(PWA) |
| 後援(予定) | スポーツ庁、観光庁、横須賀商工会議所 |
| 会場 | 津久井浜海岸(横須賀市津久井1丁目) 三浦海岸(三浦市南下浦町上宮田) |
| 開催時期 | 2024年11月8日(金)～12日(火)【計5日間】 |
| 観覧者(目標) | 140,000人(来場:40,000人 オンライン視聴:100,000人) |
| 参加選手 | 約100名(30か国以上) |

PWAワールドカップ概要

- ▶ PWA(プロフェッショナル・ウインドサーファーズ協会)公認の世界最高峰のウインドサーフィン大会です。
- ▶ ヨーロッパを中心に毎年10か所程度でワールドツアーを開催しています。
- ▶ カテゴリーはスラローム、フリースタイル、ウェイブがあり、横須賀・三浦大会では、最もスピード感溢れる「スラローム」を開催します。
- ▶ ボードは「フォイル」のみ選択可能で、フォイルの「iQFOiL」は、パリ五輪から正式採用された注目度の高い艇種です。
- ▶ 日本では、2017年に24年ぶりに開催して以降、毎年開催しています(2020年、2021年大会は新型コロナウイルスで中止)。



スラローム

SLALOM (レース) スピード感あふれるマーキングバトル!

“スラローム”はウインドサーフィンが最もスピードを得られるコースで行われます。

風上側のスタートラインから、風下側に設定されたいくつかのマークをジグザグに回りながらゴールを目指します。

スピード感溢れるレース展開にあり、特に最初のマーキングは大きく順位を左右するため、激しいバトルや駆け引きが展開されます。



▲ 最も速くコースを走り抜けた者が一番であるという単純な判りやすさも「スラローム」の魅力。

水上のF1「ウインドfoil」というギアのみで勝負する世界最高峰の戦い!

ウインドサーフィンのギアのイノベーションが更に進化し、弱風(1.6 ~ 3.3m)から15m以上の強風まで、「ハイドロfoil(水中翼が取りついたウインドサーフィン)」のみの道具で今年からは戦わなければならないルールに変更となりました。今までのウインドサーフィンの常識を覆す昨年大会とは異なった更にエキサイティングな戦いが目の前で繰り広げられます。



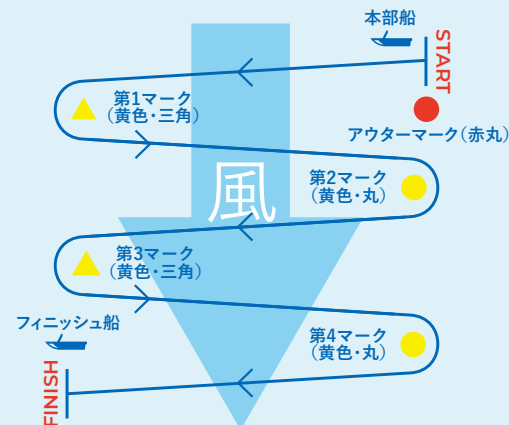
▲ ハイドロfoil

ルール RULE

競技はトーナメント方式で進められ、標準的には1ヒート(グループ)8名で競い、上位4名が次のヒートへ勝ち上がります。PWAのレースでは、ランキング上位(あるいは前のレースの上位)選手がシードされ、2回戦、3回戦から出場するシステムが採用されています。

ファイナルレースはトーナメントを勝ち上がってきた(敗者復活戦を含む)8名で行われ、時間の許す限り第1レース、第2レースとトーナメント戦が繰り返されます。最終順位はその総合成績で決定します。

- * コースは風の変化(風向きなど)に合わせて設定され、北風と南風では、スタートやゴールの位置が180度入れ替わります。
- * レースが行われる最低風速は4m/s、上限はありません。



大会会場について



横須賀市の「津久井浜海岸」は、世界的なウインドサーフィン・スラローム競技に適した「風」が吹く、波の穏やかな海岸です。

ウインドサーフィンにもっとも適した風(サイドショア)が安定して吹く理想的な場所です。

海岸からすぐに深くなるため、水中翼を使用するfoilに適した海岸です。

都心や羽田空港からのアクセスも良く、観客も来場しやすい環境です。

所要時間 (鉄道使用)

品川から約60分

池袋から約87分

羽田空港 国内線ターミナルから約75分

横浜から約43分

- * 平日日中の標準時間。乗り換え時間を含みません。
- * 池袋は山手線利用の上、品川で京急線に乗り換えた場合。

最寄駅

京急線津久井浜駅から徒歩8分



観覧者目標数

観覧者目標数**140,000人**を目指します。

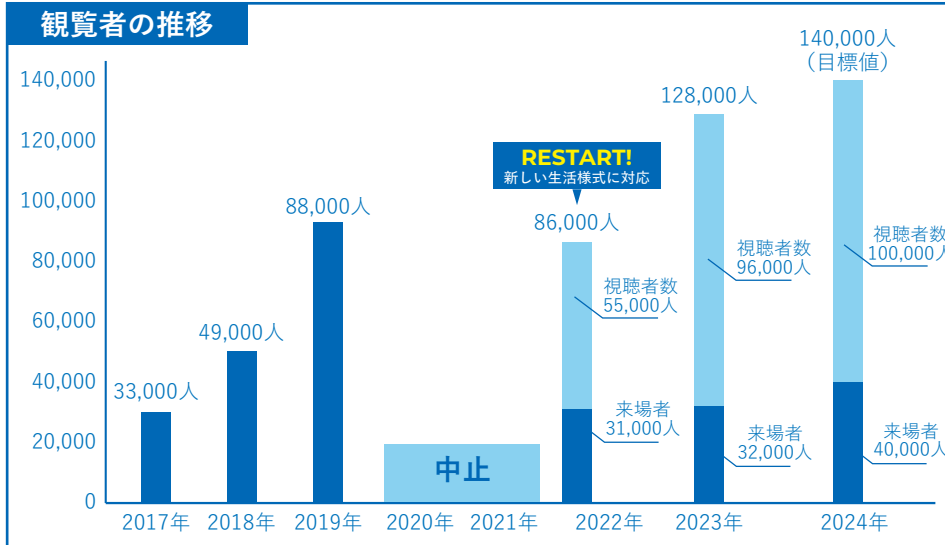
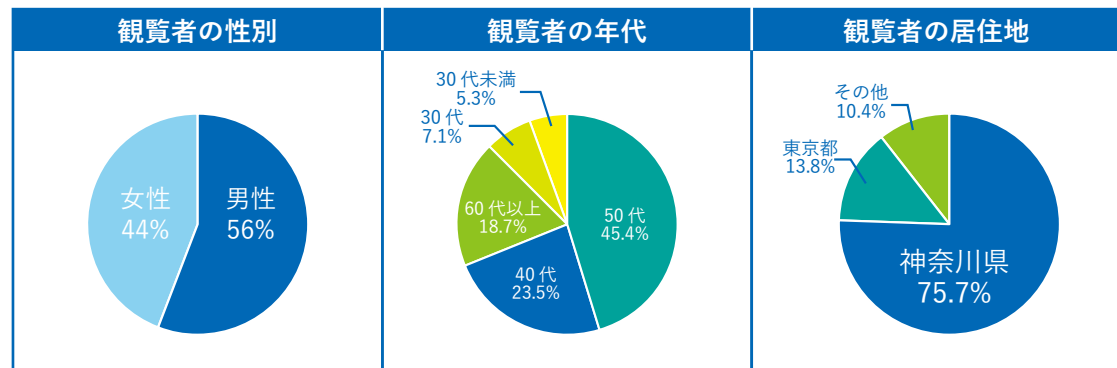
※来場者数40,000人 視聴者数100,000人

競技のオンライン配信などを積極的に活用し、より多くの人に気軽に参加して楽しんでいただく大会づくりを行っていきます。



観覧者の基本属性(2023年大会開催実績)

- ▶ 観覧者の男女比は、男性が少し多く、ファミリーでの来場が多い。
- ▶ 神奈川県内からの観覧者が多く、県内マリン・ビーチスポーツ需要層との親和性が高い。
- ▶ 観覧者のボリューム層は、可処分所得が高い世代とされる50代が多い。



イベントについて

大会会場では、SDGsへの取り組みイベントのほか、民間事業者などと連携して様々なイベントを実施することを想定しています。競技観戦、体験イベント、飲食ブースなど、ウインドサーフィンを知っている人もこれからファンになる人も楽しめる大会を目指します。

SDGsの取り組みの一例



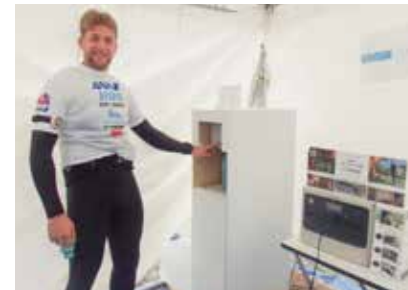
「循環型サステナブル」な社会づくりとして、服から服をつくる企画を実施。前回大会で回収したTシャツから作成したTシャツを販売。今大会もTシャツを回収し、次回大会で販売予定。



地元食材やフェアトレード製品を取り扱うキッチンカーなどの参加



キッチンカーなどで提供する食器は100%植物繊維由来の再生可能素材を使用し、エコステーションで回収



選手への水配給においてマイボトルを配布し、ウォーターサーバーから供給することで、プラスチックの使用を削減

民間事業者などと連携したイベントの一例



海上観覧船からのウインドサーフィン観戦



選手ブース訪問やプロ選手との写真撮影、陸上でのウインドサーフィン体験ができるツアー



Tokyo Street Live 4Kと連携した音楽ライブ



風が弱く公式競技が行われない場合のエキシビジョンとして、フリースタイルのトーイング・パフォーマンスを開催



ライトアップされたウインドサーフィンのパフォーマンス「ナイトウェーブ」



ウインドサーフィンワールドカップの開催を記念した京急ウォークを開催

ウインドサーフィンワールドカップ開催による地域の盛り上がり

4つのポイント

ゲレンデの環境整備

- ▶ 海岸公衆トイレの屋外シャワー設置
- ▶ 駐車場名称の変更
- ▶ セッティングエリアの設置(ゴム舗装)
- ▶ 転落防止柵の設置



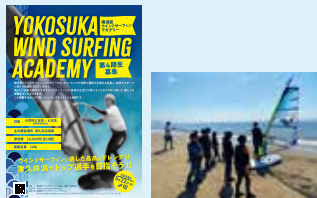
地域連携・ 地元を巻き込んだ活動

- ▶ 地域住民のボランティア参加
- ▶ ご当地商品の販売(ウインドブルー)
- ▶ マリンスポーツを組み合わせたワーケーション施設の整備



ジュニアアスリートの 発掘・育成

将来的に世界で活躍できるウインドサーファーの輩出を目指し、令和3年5月よりジュニア育成を開始

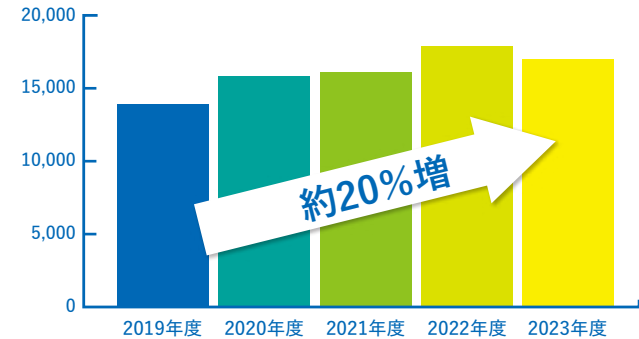


新たな大会等の開催

- ▶ 国内のプロ・アマ・学生問わず多くのクラス競技が実施されるドリームカップ
- ▶ 全日本フリースタイルトーナメント
- ▶ パリ五輪出場を目指しオリンピック強化練習会



津久井浜海岸の ウインドサーファーが 約120%[※]に増加!



※ ウインドサーフィンW杯記念駐車場の利用者数
(2019年度から2023年度の推移)

世界最高峰の大会であるウインドサーフィンW杯を津久井浜で継続開催し、まちの賑わいを創出するとともに、大会をきっかけとした「ウインドサーフィンのまち」としての仕掛けづくりをさらに進めていきます。

プロモーションとオンライン配信

大会前にSNSによるデジタルプロモーションを積極的に展開し、新たなファンを獲得し、ライブ配信の視聴につながるような施策を展開します。

また、より多くの人に気軽に参加し楽しんでいただくために、大会の様子をオンラインでライブ配信します。

デジタルプロモーションの充実

- ▶ 若年層・ライト層をはじめ、国内外問わず幅広くアプローチできるプラットフォーム(Instagramなど)を活用
- ▶ PWA、アスリートなどを絡めた投稿で拡散させるとともに日英両方のキャプション・ハッシュタグによってグローバルに訴求
- ▶ 過去の大会をはじめ、選手や国内レースをフィーチャーしたコンテンツを配信
- ▶ 大会映像だけでなく、大会オリジナルTシャツのデザイン工程や会場である横須賀・三浦地域の観光PR動画を作成し、YouTubeにて配信

これらのプロモーションを展開し、新たなファンの獲得、ライブ配信の視聴者獲得につなげていきます。

オンライン配信

大会期間中は、MC・競技解説者により、公式YouTube・Facebookで競技の配信と様々なコンテンツを交えたオンラインによるライブ配信を行います。

YouTube配信を行った動画一例



▲大会参加選手のインタビュー



▲Tシャツプロジェクトの紹介



競技理解促進について (ICTを活用した分かりやすい競技大会)

競技を分かりやすく観戦するために

映像で楽しむ

レース会場&オンラインライブ観戦のデータサポート

会場内に設置した大型ビジョンで迫力ある競技を観戦。MCが競技解説を行い、多くの方に観戦を楽しんでいただいています。

大型ビジョン&インターネットライブ配信



みどころ:リアルタイム速度表示



みどころ:バーチャルレースで順位を確認



スマホで楽しむ

自宅で、会場で、映像と併せてみたいレース情報

レース番組表



Live:リアルタイムレース観戦MAP

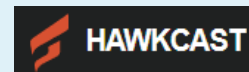


Result:順位速報



大会期間中に競技情報を入手できるwebサイト「HAWKCAST」を公開。大会会場の大型ビジョンにもレース状況として映し出します。レースは陸から1kmほど離れた沖合で行われ、肉眼では展開がわかりにくいことから、HAWKCASTで観戦を盛り上げます。個人でもスマートフォンやタブレットからアクセスすることで、レース観戦アニメーションでリアルタイムにレースを観戦することができます。他にも、レース毎の予定、出場選手一覧、レース状況、レースリザルト速報、確定レース結果などをリアルタイムで確認できます。映像だけでは選手の判別が難しいところを、より分かりやすく、「追い上げ」や「逃げ」といった見所がより視覚的に分かりやすくなります。

提供:N-Sports tracking Lab



メディアコンテンツについて

HP・SNS、各種広報媒体、配信コンテンツ、世界中のニュース等、様々なメディアでウインドサーフィンワールドカップがワールドワイドに発信されます。



| | |
|--------------------|--|
| ライブストリーミング | ドローンやワイヤレスカメラを取り入れた生中継配信 (PWA TV、YouTube、Facebook) |
| テレビニュース配信 | 大会最終日または翌日にラフカット映像を全世界の放送局に提供し、各局に提供し、各局が編集配信 (実視聴者数:2,000万人～8,000万人) |
| デイリーハイライト | 各日の終わりに、その日の競技内容を簡潔に編集し、YouTube、ソーシャルメディアで配信 |
| テレビ番組 | PWA制作の約50分間番組 (全世界最低3億7,000万人以上の世帯に放送) |
| ソーシャルメディア連携 | YouTube、Facebook、Instagram |

この他、PWAのメディアチームが専門のスペシャリストを配置し、大会のビデオニュースリールを作成して、
世界50か国以上の媒体に提供されます。

※ニュース、スポーツ番組等

PWA World Tour公式YouTube



実行委員会

▶ 実行委員会が持つ様々な広報媒体でご紹介できます

大会公式ウェブサイト



ANA



ANAの機内誌(デジタル版も含む)「翼の王国」への掲出やANA公式 Facebook、X (旧Twitter)などへの投稿。

京浜急行電鉄



京急線各駅で配布するフリーペーパー(デジタル版も含む)「なぎさ」MIULIKE、京急線の電車内中吊り、駅貼りなどに掲出。

自治体



神奈川県、横須賀市、三浦市の広報媒体を使用した広報展開。

大会報道実績について

ウインドサーフィンワールドカップは、国内外の多くのメディアが注目し、取材の依頼申込みがあります。

過去の大会(2017年～2023年大会)では、テレビ・ラジオ・インターネット放送・新聞・雑誌・インターネットweb関連の取材・問合せがありました。地域・地元の振興・活性化の観点から、注目の競技大会になります。

テレビ

NHK 4時も!シブ5時 (生中継)、ニュースシブ5時 (生中継)、首都圏ネットワーク、首都圏ニュース645、ひるまほっと

日本テレビ news every.、笑ってコラえて **TBS** Nスタ、あさチャン **テレビ朝日** アタック25 **フジテレビ** 直撃LIVE グッディ!

テレビ東京 アド街ック天国、ワールドビジネスサテライト **tvk** NEWS930α、カナフルTV、News Link、TVKニュース、猫のひたいほどワイド

BS松竹東急 ANAウインドサーフィンワールドカップ「がむしやら」特別編 (大会会場から生中継)、ANAウインドサーフィンワールドカップ大会ダイジェスト

BS日本 ドクター Woman ～命の砦を守る女性医師の物語～第2弾 など **J:COM** 特別番組(54分)、デイリーニュース、YOKOSUKAIほっとナビ、タなび

ラジオ・インターネット配信

FM横浜 The Burn、Lovely Day、湘南Play Ground、KANAGAWA Muffin、E-ne! good for you、F.L.A.G

Nack5 びーさんぼーいず **ニッポン放送** DAYS **NHK横浜放送局** 横浜サウンドクルーズ

FMブルー湘南 こんにちは横須賀市役所です、遊びにきませんかスタジオへ **インターネット配信** かなちゃんTVなど

新聞

読売新聞、朝日新聞 (一面)、日本経済新聞、毎日新聞、神奈川新聞、東京新聞、産経新聞、長崎新聞、静岡新聞、中国新聞、京都新聞、電経新聞、航空新聞 など

雑誌等

翼の王国 (ANA国内線機内誌)、WINGSPAN (ANA国際線機内誌)、首都高マップ、ウインドサーフィンマガジン、タウンニュース、そとあるき、横須賀よみうり、はまかぜ、三浦半島だより、なぎさ、MIULIKE、うわマッチ、県のたより、広報よこすか など

Webメディア

トラベルWatch、ジョルダン、横須賀経済新聞、Aviation Wire、Fly Teamニュース、ウーマンエキサイト、日経XTECH、マイナビニュース、ケータイWatch、Itmedia NEWS、Paraphoto、ヨコスカ織り人、レスポンス、PHILE WEB、神戸新聞、Yahoo!ニュース、BIGLOBEニュース など

tvk 「tvk News Link」



BS松竹東急 「がむしやら」



2023/11/11 読売新聞オンライン



スポンサーメリット(協賛メニュー1)

PWAウインドサーフィンワールドカップに相応しい高品位な社名・ブランド・ロゴの露出が図れます。また、スポーツ競技大会として、さまざまな競技シーンでの露出が行われます。

| 内容 | 金額 | | | | 詳細内容 |
|---|---------|----------|----------|----------|--|
| | 1,000万円 | 500万円 | 300万円 | 100万円 | |
| 大会プログラム広告掲載 | 純広1ページ | 純広1/2ページ | 純広1/4ページ | 純広1/8ページ | 大会会場、京急線各駅、県内公共施設等で配布する大会プログラムに企業広告を掲載します。(B5判カラー 20ページ10,000部を想定) |
| 会場内大型モニターでの紹介 | ○ | ○ | ○ | ○ | 会場内大型モニターで企業紹介動画・企業CMを放映します。 |
| オフィシャルパーティ招待 | ○ | ○ | ○ | ○ | 最終日実施されるパーティにご招待します。※人数は要相談 |
| 専用PRブース出展 | ○ | ○ | ○ | — | 大会会場に専用のブースを出展し、物販・サンプリング等PRにご利用いただけます。テント(1.5K×2K)1張、コンセント(1.5W)1口、テーブル、椅子を提供します。 |
| 競合他社排除 | ○ | ○ | — | — | 同業他社の協賛申込みを制限します。 |
| セイルステッカー | ○ | ○ | — | — | 選手のセイルに貼るセイルステッカーに企業名を掲載します。 |
| 選手ラッシュガード(ウェア) | ○ | ○ | — | — | 選手が着るラッシュガードに企業ロゴを掲載します。 |
| ソーシャルメディア連携 (YouTube・Facebook・Instagram) | ○ | ○ | — | — | PWAの保有する各種SNSの投稿画面に企業ロゴを掲載します。企業PRとなるよう選手に協賛企業のリストを提供し、SNSで投稿してもらえるように促します。 |
| 国内向け生中継配信でのロゴ常時表示 | ○ | ○ | — | — | 競技の状況を配信する映像に企業ロゴを常時表示します。 |
| 海外向け生中継配信でのロゴ常時表示 | ○ | — | — | — | PWA TV(ウェブストリーミング)、YouTube、Facebookで行う生中継配信の画面上に企業ロゴを常時表示します。 |
| マーカーブイ | ○ | — | — | — | 競技コースのマーカーブイに企業名を掲載します。 |

大会プログラム広告掲載



会場内大型モニターでの紹介



専用PRブース出展



セイルステッカー



選手ラッシュガード



マーカーブイ



配信番組でのロゴ常時表示



スポンサーメリット(協賛メニュー2)

| 内容 | 金額 | | | | 詳細内容 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-------|--|
| | 1,000万円 | 500万円 | 300万円 | 100万円 | |
| 実行委員会が制作する広報媒体への企業ロゴの掲出 | ○ | ○ | ○ | ○ | 各種広報物に企業ロゴを掲載します。 【例】大会ポスター・チラシ、大会公式HP・SNS、大会プログラム等 |
| 大会ステージバックパネル | ○ | ○ | ○ | ○ | ステージのバックパネルに企業ロゴを掲載します。 |
| インフォメーションボード | ○ | ○ | ○ | ○ | 会場内のインフォメーションボードに企業ロゴを掲載します。 |
| スタッフTシャツ | ○ | ○ | ○ | ○ | スタッフTシャツに企業ロゴを掲載します。 |
| 会場内スイングバナー・フェンスバナー | ○ | ○ | — | — | 企業ロゴのスイングバナー・フェンスバナーを設置します。 |
| 入退場ゲート | ○ | — | — | — | 企業ロゴを掲載します。 |

大会ポスター



大会SNS



X(旧Twitter) Instagram Facebook

大会ステージバックパネル



大会オリジナルスタッフTシャツ



会場内スイングバナー・フェンスバナー



※企業版ふるさと納税も活用できます。詳しくは実行委員会事務局までお尋ねください。

PRメッセージ

全日本空輸株式会社(ANA)

本大会はANA社員の発案が一つのきっかけとなり、マリンスポーツで地域振興を行いたい横須賀市の意向と、地域のファンを増やすなどの企画目的が合致したことにより、2017年(第1回)から特別協賛しております。現地観戦及びオンライン観客動員数も年々増加してきておりますが、近年の大会ではSDGsに関心を持っていただく取り組みも実施しており、大会関係者や地域の皆様と一緒に盛り上げてまいります。

京浜急行電鉄株式会社

世界最高峰のウインドサーフィンワールドカップを津久井浜海岸・三浦海岸沖で開催できることで、世界トップクラスのスピード感溢れるレース展開や技をライブ観戦できます。

昨年は世界各国への動画配信を行った結果、96,000人の方々に観覧いただきました。

会場ではSDGsへの取り組みを積極的に行うなど様々な施策を計画しており、地域の皆様や大会関係者で三浦半島の活性化に貢献してまいります。

横須賀市

本大会は多くの協賛企業、地域ボランティアの皆様を支えられて、6回目の開催となります。世界最高峰のワールドカップとして、唯一のアジア開催地であり、オンラインのライブ配信により、全世界からさらに注目を浴びる大会となりました。

大会開催を契機に、競技関係者、応援企業、地域ボランティアの輪が広がっていることに加え、津久井浜海岸のウインドサーファーも増えていきますので、引き続き「ウインドサーフィンのまち」としてのブランディングを進め、地域の賑わいを創出してまいります。



企業版ふるさと納税による寄附について

企業版ふるさと納税とは

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除をする仕組み。



- ▶ 1回あたり10万円以上の寄附が対象
- ▶ 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止
- ▶ 本社が所在する地方公共団体への寄附については対象外

参考 協賛の場合

広告宣伝費として損金算入され、協賛額の3割が税額控除
(企業負担は協賛額の7割)

企業版ふるさと納税による寄附もご活用ください

2022年大会から、通常の企業協賛だけでなく、企業版ふるさと納税による寄附もご活用いただけるようになりました。

ご寄附をいただいた企業様は、法人関係税の軽減効果(上記参照)を受けられるとともに、人工の動力を使わずに風の力だけで走る持続可能なスポーツであるウインドサーフィンの国際大会を支える企業として、環境に配慮する企業イメージの創造、定着が図れます。なお、ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会の広報制作物等で寄附企業のご紹介をいたします。

※「企業版ふるさと納税をいただいた場合のご紹介方法」は次ページを参照ください。

寄附金の使い道



皆様からの寄附金は、大会の一層の盛り上げに活用いたします!

企業版ふるさと納税をいただいた場合のご紹介方法

| 内容 | 金額 | | | | 詳細内容 |
|---|---------|-------|-------|-------|---|
| | 1,000万円 | 500万円 | 300万円 | 100万円 | |
| 大会プログラム掲載 | ○ | ○ | ○ | ○ | 大会会場、京急線各駅、県内公共施設等で配布する大会プログラムに企業ロゴ・企業名を掲載します。(B5判カラー 20ページ10,000部を想定) |
| 会場内大型モニターでの紹介 | ○ | ○ | ○ | ○ | 会場内大型モニターで企業ロゴ・企業名を放映します。 |
| 実行委員会が制作する広報媒体への企業ロゴの掲出 | ○ | ○ | ○ | ○ | 各種広報物に寄附があった企業ロゴ・企業名を掲載します。 【例】大会ポスター・チラシ、大会公式HP・SNS |
| 大会ステージバックパネル | ○ | ○ | ○ | ○ | ステージのバックパネルに企業ロゴを掲載します。 |
| インフォメーションボード | ○ | ○ | ○ | ○ | 会場内のインフォメーションボードに企業ロゴを掲載します。 |
| スタッフTシャツ | ○ | ○ | ○ | ○ | スタッフTシャツに企業ロゴを掲載します。 |
| 専用ブース出展 | ○ | ○ | ○ | — | 大会会場に専用のブースを出展し、出展ブースとしてご利用いただけます。テント(1.5K×2K)1張、コンセント(1.5W)1口、テーブル、椅子を提供します。 |
| 会場内スイングバナー・フェンスバナー | ○ | ○ | — | — | 企業ロゴのスイングバナー・フェンスバナーを設置します。 |
| セイルステッカー | ○ | ○ | — | — | 選手のセイルに貼るセイルステッカーに企業ロゴを掲載します。 |
| 選手ラッシュガード(ウェア) | ○ | ○ | — | — | 選手が着るラッシュガードに企業ロゴを掲載します。 |
| ソーシャルメディア連携(YouTube・Facebook・Instagram) | ○ | ○ | — | — | PWAの保有する各種SNSの投稿画面に企業ロゴを掲載します。 |
| 国内向け生中継配信でのロゴ常時表示 | ○ | ○ | — | — | 競技の状況を配信する映像に企業ロゴを常時表示します。 |
| 海外向け生中継配信でのロゴ常時表示 | ○ | — | — | — | PWA TV(ウェブストリーミング)、YouTube、Facebookで行う生中継配信の画面上に企業ロゴを常時表示します。 |
| マーカープイ | ○ | — | — | — | 競技コースのマーカープイに企業ロゴを掲載します。 |
| 入退場ゲート | ○ | — | — | — | 企業ロゴを掲載します。 |

詳しくは実行委員会事務局までお尋ねください。



ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会 事務局

〒238-8550 横須賀市小川町11(横須賀市文化スポーツ観光部企画課内)

TEL:046-822-9284 / FAX:046-824-3277 / E-mail: wwc@city.yokosuka.kanagawa.jp